

加速度的に急激に強くなるゲリラ豪雨への基本的な対応 (タイムライン)

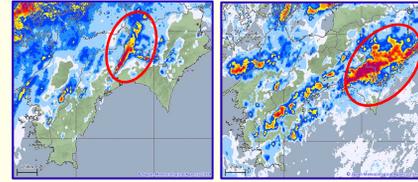
平成30年8月作成
平成31年4月一部修正
高知県危機管理部
危機管理・防災課

趣旨

全国的に局地的大雨や集中豪雨などのいわゆるゲリラ豪雨が多発している。
本県においても、平成30年7月豪雨においては、安芸市や大豊町、宿毛市などで急激に雨が強く降りはじめ、1時間雨量が100mmを超える猛烈な雨が観測され、大きな被害が生じた。

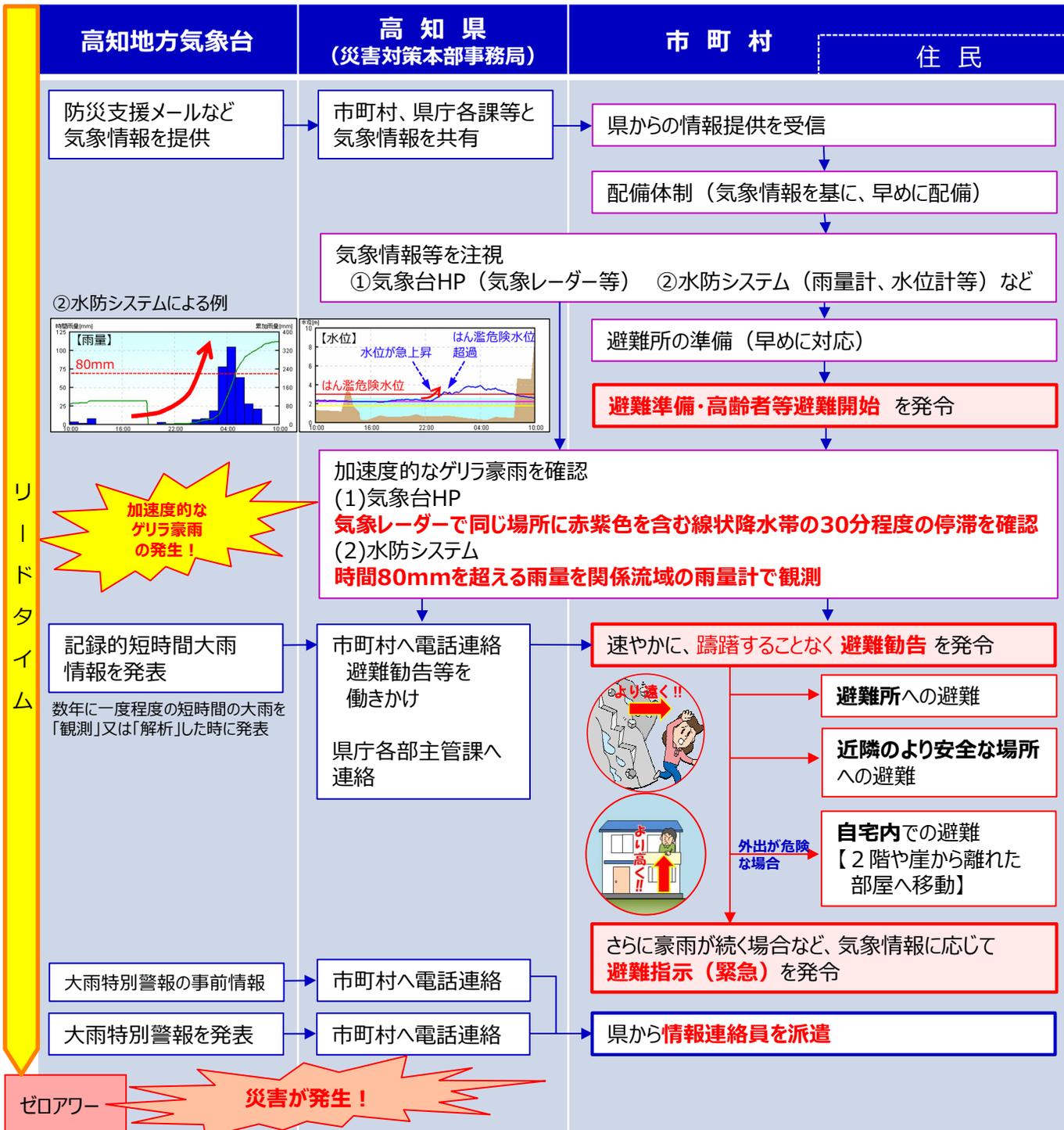
このような加速度的に急激に強くなるゲリラ豪雨(加速度的なゲリラ豪雨)は今後も発生することが考えられることから、本県における基本的な対応(タイムライン)についてまとめた。

①気象レーダー画像(線状降水帯の例)



高知地方気象台提供

※加速度的なゲリラ豪雨：時間雨量80mmを超える猛烈な雨が加速度がかかるように急に降りはじめ、同じような場所で短時間降り続く豪雨。それまでの累計雨量が小さくても、急激に雨量が増えることから、河川や水路が短時間で増水したり、土砂災害が発生する危険性が高まる。(気象用語ではありません)



リ
ド
タ
イ
ム